

1 提案者 田中 俊輔 (千曲市立戸倉小学校)

2 提案内容

(1) 単元名 「自分の思いを上手に伝える方法を考えよう」

(2) 番組名 「いじめをノックアウト」 ～SNSでの『上手な断り方』って?～

(3) 授業のねらい

本校6学年の児童は、日頃から些細な言葉のすれ違いを経験している。言葉によるコミュニケーショントラブルを回避し、友達の誘いを上手に断る方法を考えるため、アサーションの学習を取り入れ、具体的な場面を想定することで、相手の思いや自分の思いを大切にす適切な言葉の伝え方を考えるようにした。終末では、似たような場面としてSNSでの上手な断り方を取り上げた番組を視聴することで、適切な伝え方や様々な伝え方があることを理解できるようにした。

(4) 授業の実践記録

段階	学習活動	児童・生徒のようす	指導・助言	備考
導入	1. アンケート結果を見て、実態を知る。 2. アサーションとは何かを知る。	自分の「思い」を大切にするアンケートより Q.友達がまちがっていることを言ったりしたりしたときに、正しいと思うことを言えないのは、なぜですか。理由を教えてください。 A.嫌われたり無視されたりしそう A.相手に何を言われるか分からないから怖くて言えない。 A.正しいことを言ったほうがいいことは自分でもわかっているけれど、そのときに自分が変に思われるかもしれないから(言えない)	・事前のアンケート結果を提示。 【番組チャプター6視聴】	ロイロノートアンケート機能使用
展開	3. 本時の課題を知る。 「友達の誘いを上手に断るにはどうしたらよいだらう」 ～給食時間 昼休みが始まる前に～ 友達のAさんたちから、今日の昼休みに鬼ごっこをしようと言われましました。でも、今日は、新しい本が図書館に来ていて、昼休みに借りに行く図書館の先生に予約してあります。そして借りたあとはその本を読もうと楽しみにしていました。さあ、あなたなら、どうしますか?		・「アサーション」 おたがいを大切にしながら自分の気持ちをちゃんと伝える方法	・ロイロノートのグループごとの共有ノート使用
	モデリングI 断らないで鬼ごっこに入る A「今日の昼休み、みんなでおいごっこしよう！もちろん入るよね？ ちそうさまがすんだら、鉄ぼうのところに集合だよ！」 B「えっ」「あー」と口ごもっている A「Bちゃんが来ないと面白くないよ。必ず来てね！」 B「・・・うん、うん・・・」 (拍手 ※役割解除)	・のび太君の伝え方ははっきりしないなあ。 ・あいまいで分かりにくい	・モデリング1・2を児童がA役、B役、聞き役に分かれてロールプレイし、感想を伝え合う。感想を全体でも共有する。	
	モデリングII 理由も言わず、らんぼうに断る A「今日の昼休み、みんなでおいごっこしよう！もちろん入るよね？ ちそうさまがすんだら、鉄ぼうのところに集合だよ！」 B「えーっ、そんなのやだよー」 A「Bちゃんが来ないと面白くないのに・・・。来てくれないの？」 B「だって、おいごっこなんて、したくないもん！」 (拍手 ※役割解除)	・ジャイアン の伝え方をされると次から誘うのが嫌になる。		

終末	4. 自分だったらどう伝えるのか 考え、グループで共有する。	・ごめんね、今日は行かないな。 ・今日は図書館に行くからほかの日にしない？	・相手の思いも自分の思いも大事にするにはどうやって伝えたらよいだろう。	・ロイロノートのグループごとの共有ノート使用
	5. 適切な伝え方 (モデリング 3) を知り、ロールプレイをする。	モデリングⅢ 理由を言ってきちんと断る A 「今日の昼休み、みんなでおにごっこしよう！もちろん入るよね？ ごちそうさまがすんだら、鉄ぼうのところに集合だよ！」 B ①えっ、あの…ごめん！ ②今日の昼休み、新しい本を貸してもらおうように図書の先生にたのんでいたんだ。 ③すごく楽しみにしてたから、昼休みは本を読みたいと思っているんだよね。 ④おにごっこ、明日じゃダメかな？ A そうかあ。わかったよ。じゃあ、明日にしよう。 B ありがとう！ 		
	友達のさそいを上手に断るポイント ①あやまる気持ちを言う ②ことわる理由を言う ③できないことをはっきり言う ④次の約束や、かわりのアイデアを言う	・しずかちゃんの伝え方なら相手を傷つけずに済むね。 	 【番組全視聴】	
	6. 番組を視聴して、本授業のまとめをする。			
	7. 自分の思いを適切に伝えるために気を付けたいことをふりかえりカードに記入し、本時の学習を振り返る。	■ただ「ごめん」だけでなく、相手を傷つけないようにするにはどうすればいいのかをしっかりと学習できたので良かったです。 これからも、この学習を活かして、相手を傷つげずにしたいです。 ■今までは、その人に友達をやめられたり、いやなことを言われるかもしれないから釣られて自分も悪口をいってしまったことがあったけど、人権学習で、ちょっと断ったりしたほうが良いと思った。 ■その時の断り方や言葉使いを学べたので、自分も一歩成長したと思った。 ■これからは、人の意見に流されず、自分の意思をもって、生きていきたい。		・ロイロノートでふりかえりカードを提出

(5) 考察

- ・番組の内容が児童の悩みとリンクした内容であったことや担任以外の第三者（番組）の意見やコメントがあることで、授業のまとめとしてより説得力が増した。
- ・児童と年齢が近い人の声を聴けたことで、困り感や不安は自分だけではないのだと、安心感を得た。
- ・番組の登場人物を児童が自分と置き換えて視聴したことで、より自分事として捉えることができた。

(6) 番組への要望

- ・実際の児童生徒の生の声を取りあげられていたり、芸能人など子どもたちがよく知っている人が大切なことなど呼びかけ、コメントしている要素が盛り込まれていたりすると、より説得力を増すと思われる。

